



あい 愛
あい 逢

第
19
号

特定非営利活動法人 愛逢

尼崎市小中島1-20-21

電話 06-6493-1424

FAX 06-6493-1443

発行責任者 坂本 敬子

発行日 2008年1月10日

ついでに"新年の"祝詞を申し上げます

昨年は愛逢にとって、地域の団体とのネットワークづくりが一步前進した年でした。聖トマス大学の夏恒例の「平和展」に地域のNPO団体をはじめ諸団体と共催、聖トマス大学図書館、園田苑、愛逢合同企画による「地域でつくる平和と共生フォーラム」の開催（現在も毎月1回継続中）、園田地区NPO法人の初めての集いなど、多くの団体と協働することで新たな出会いがあり、つながりが出来ました。

人と人のつながり合うネットワークが地域の力になります。私（愛逢）ができる事、担えることはたかだか知れています。しかし“あの人に聞いてみるね、あの団体に声かけてみるわ”と人（団体）につなぐことができたなら、あきらめかけたことや願いが実現するかもしれません。

すべての人が「このまちに住んでよかった」そんなまちづくりを目指して、今年もスタッフ一同ガンバリます。本年もご支援よろしくおねがいたします。

理事長 坂本 敬子

◇◇地域交流 もちつき大会◇◇



暮れの12月15日、午前9時頃から虹のふれあいセンターで第3回地域交流もちつき大会を開きました。ひと臼目のもちが

つきあがる頃には、地域の子もたちが多く集まって、笑顔がはじける楽しい1日を過ごすことができました。チビちゃんたち、素敵な笑顔をありがとう！！



2008年

各部門から 新年の抱負

〔居宅介護支援事業〕

冒頭からではございますが、ケアマネとしては今年も頭の痛い年になりそうです。短期間で高齢社会になり、さらに超高齢社会を目前に控え行政も財布のひもを締めたい気持は良くわかります。要介護1の方はほとんど要支援にされています。要介護と要支援では受けられるサービスの量が格段に違います。しかし、その締め方があまりにもおろかで、数年後にはもっと費用のかかるお年寄りを作り出しているような気がします。制度は守る為にあるのではないと思っています。人の幸せの為に人間が知恵を絞って作ったものが制度です。その制度が本当に人を幸せにできるものか、よく考えてみなければなりません。もし人を幸せにできない制度なら、意味あるものにしていく為に、皆で声を上げていこうと思います。兼行 栄子

〔ミニデイ〕

新しい年をむかえ気持ちも新たにミニデイサービスに携わっ



ていきたいと思っています。「今日はよう笑ったネ、また何処かに連れて行ってヤ」の声が聞けるよう今年も頑張っていきます。みな様のご声援やご協力をよろしくお願いいたします。長嶺 弘美

〔訪問介護・自立支援事業〕

訪問介護、自立支援ともに年々制度の見直しがあります。制度が目まぐるしく変わり、利用者さんの生活がよくなるのではなく、生活していくうえで不安を感じておられます。この様な現状をふまえ、サービス提供者、ヘルパー共に利用者さんの立場に立った、サービス内容、援助を心かけていきます。

今年も宜しくお願いします。

中田 佳代子

〔配食サービス〕

配食サービスも毎日の活動をするようになって3年頑張ってきました。献立内容の充実、配達時間など問題はありますが、利用者の皆様からは「ありがとう」の一言が聞かれボランティア一同喜んでいきます。今年もみんなが互いに「ありがとう」と言い合える活動を続けたいと思っています。よろしくお祈りします。橋平 浩子



〔助け合い〕

昨年も介護保険が使えないニーズに対して、サービスを提供し、皆様には大変喜んでいただきました。今年は介護保険制度内で認められていたことが段々認められなくなり、実際はお困りになる、そんな方が増えると予想されます。そのような制度で良いのか！と意見を申し立てる一方でやはり直ぐにでも対応して欲しいと思っておられる方々にはできる限り対応していきたいと思っております。制度に載らないので、逆に制度に縛られることありません。ですから何の資格もありません。ニーズはあるのに担い手が不足しています。「困った時はお互い様」の精神で、助け合いの輪に加わってください。またお友達も紹介して下さい。活動内容は以下のようなものです。入院中の話し相手・食事介助、通院介助、庭の草引き、剪定、留守中の花や木の水やり、犬の散歩その他 今年もよろしくお祈りします。兼行 栄子

ターミナルケアを考える講座と映画会が

盛況の内に終了しました

最期をどのように迎えますか？

NPO法人愛逢では、「看取りの家」のようなものをつくりたい！という夢を持っています。高齢社会になる＝死亡人口が増える、ということです。厚労省は病院のベッド数を削減して医療費を切り詰め、さらに、「後期高齢者保険」なるものを作り更なるケチ作戦を展開してきています。在宅へ、在宅へという方針は打ち出す一方で、在宅を支える介護保険は、使いにくく使いにくと、工夫？されてきております。

いったい私たちは何処でどのように最期まで尊厳を持って生き



続けたらよいのでしょうか？！一方、いつかは死ぬ、ということは分かっているつもりでも、なかなかそれを具体的に想像することを避けてきました。そして、いざという時になって「先生にお任せします」と自分の命を他人にあずけ、預けられたほうは自分にできる全てを尽くし、いわゆる「マカロニー症候群」を作り出してきたのではないのでしょうか。

講座を受けて、いろいろ感じました

そんな風潮の中で「看取りの家」などで過ごしたいという人がいるのだろうか？

もっと、自分の命のことを自分で考え決められる市民を増やすことが大切なのではないだろうか、そんな想いで講座に取り組みました。

しかし、講座を終了してみて感じたのは、自分の命を他人任せにしておられない方が沢山居られるということでした。勿論、この講座に

参加してみようと思われること自体、既に何らかの関心をお持ちなのでしょうけれど…

アンケートの設定に延命治療の項を設けさせていただきましたが、「して欲しくない」、「自然のままがいい」と答えられた方が目立ちました。

そして、最終回の講座では、「看取りの家についてどう思われますか」と質問させていただきました。「必要だ」、「あったらいい」というご意見を沢山いただき、「ご自分はそんな家に住みたいと思われますか」という問いかけには「住みたい」、「今は分からない」というご意見も多数頂戴いたしました。勿論「住みたくない」という方も居られました。

そろそろ人生を閉じようかという方々の生きる場所の選択肢は沢山あった方が良くと思います。「住みたい」と言ってくださった方々に勇気付けられ、夢を目標に変えて一歩が踏み出せそうな気がしています。

ありがとうございました

最後になりましたが、快く講師を引き受けてくださった諸先生方、参加してくださった沢山の皆様、また、アンケートにご協力くださった皆様、講座をお手伝いくださいましたボランティアの皆様、その他沢山の方々に支えられてこの講座は大きな成果を残すことができました。そして、いつも快く会場を貸しくださる聖トマス大学に紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

皆様、本当にありがとうございました。



上映した映画のタイトルから

ミッション(社会的使命)

私たちは多様な生き方が尊重され、
誰もが安心して暮らせる地域を作る為、
仲間と支えあい(愛)、つながりあ(逢)っていきます。

寄付金をいただきました

(敬称略)

兼行 栄子、藤井 小夜、横山 良幸、服部 キミエ の方々に
当会の趣旨にご賛同頂き、ご協力頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

(期間:11月1日~12月15日)

ホ ッ ト 待 夢



「門松は冥土の旅の一里塚……」

お正月を待ったのは昔々、子供の頃でした。わずかなお年玉を心待ちにし、今は見ることもない
はね突きや双六に興じ、火鉢を囲み餅やみかんを焼いたこと、懐かしいですね。

楽しかったお正月もいつしか一里塚のように感じる年頃になり、今年も無事に迎えられたことは
喜びです。『終わりよければ すべてよし』の心境で今年も良い年であるように努め
てゆきたいと思います。会員の皆様方も良い年であるように念じ、同じ時間を共有
してゆきたいと思っています。



<淑女>

おとなの川柳-2

謹んで川柳の年明けを表します。

前号より始まりましたおとなの川柳もこれで2回目です。

社内では評判は芳しくありませんので、皆様方のお力添えをお願いします。

私は年始にあたり宣言します。「泣いてたまるか！川柳はわが人生なり！」

渥美清氏の主演映画のタイトル同様である。

そこで一句『初詣 今年も願掛け 腹上死』…男のロマンですね…

もう一句 『初恋は 遠きにありて 思うもの』…パクリはいかんね…

もう一句 『植草さん ミラー片手に 宮参り』…お大事に…

おまけにもう一句『援交を 英訳したら ボランティア』…お見事なり…

今年もよろしくお付き合いくださいね。

次回“おとなの川柳-3”は書かせてもらえるのだろうか？

<松ちゃん>



愛逢では車イスをもらうために、空き缶の
ふた(プルタブ)を集めています。ご協力を
よろしくお願いします。



プルタブ

第16回 雪まつり

日時 2月11日(祝)11時~15時

会場 丸橋公園

[雨天決行]

NPO愛逢はトン汁で参加します。

皆さん、遊びに来てね~!

【ボランティア歓迎】